

第五條 甲ト乙トノ聯工産備關係ハ大正十三年八月

二十五日ヲ以テ切切リ終息スル事

第六條 乙ノ作業ハ甲ノ工場内ニ於テ之レヲ為ス事

但シ該工場ハ甲占有シ乙トノ尙貸借契約存

在セザルモノトス

第七條 乙ハ甲以外ノ人ヨリ鑄物ノ注文ヲ引受テ製

造セザル事

第八條 乙ノ作業從事無一ニ聯工タリシ下記各

ノ以テ從事スル事 但シ將來作業止止

ムヲ得ザルニ由ルル時ハ甲ノ承認ヲ得テ

生産スル事

第九條 原綿上鑄物工場ト他工場トノ間ニ及ビ到

リ設テ出入口ニ甲ノ巡視該所ヲ設ケル事

第十條 乙ハ任久不能共ニ聯工良否帶濃清

造ヲ代理人ト決定シ甲トノ契約ヲ他ニ交渉

ノ任ニ當リ且ソ甲乙間ノ關係ニ於テ乙ヲ

代表シタル全責任者トスル事

第十一條 乙ハ作業ニ付甲ノ指揮監督ヲ受ケル事

第十二條 乙ニ於テ以上ノ條件ニ違背シタル時ハ本契

約ハ当然解除スルモノトシテ甲ハ何時ニテ

同工場ヲ閉鎖シ乙ノ全負ニ退場ヲ命ズルニ乙

ニ於テ何等異議ナキ事

但シ此ノ場合乙ハ甲ニ對シ要求ケル數事申出ル可

ル事

以上契約書ニ遵テ作製シ甲乙各一週宛

所納スルモノ也